

2 本所で提供している体験活動の意義

(1) 集団宿泊体験

集団で規則正しい生活をするを通して、基本的な生活習慣、社会におけるモラルやマナー、忍耐力などを身につけ、規範意識の向上につなげることができます。また、寝食を共にすることにより、仲間とのかかわり合いが深まり、互いに尊重し合う資質や態度を育むことができます。

(2) 自然体験

自然体験活動は、自然に対する直接体験です。コンピュータやテレビゲームなどの疑似体験では得られない、新たな気づきや発見があります。また、自然の厳しさや人間の無力さを感じる場面や困難を乗り越えなければならない場面もあります。その困難を乗り越えたときにこそ達成感や満足感が生まれ、大きな感動が味わえます。共に体験した仲間との間には、達成感、満足感を共有することで一体感が高まり、より強い『きずな』が生まれます。

(3) 交流体験

集団宿泊体験や自然体験を通して、他の団体や異年齢の人たちと交流することができます。そこで、多様な考え方を知ったり、社会的視野を広めたりすることができます。コミュニケーション能力や人間関係づくりの基本的能力が高まり、豊かな人間性と社会性を育みます。

3 研修を進めるにあたって

(1) 研修の推進主体は団体指導者

本所で行う研修の推進主体は、団体の性質や研修生、研修目的を最も理解されている団体指導者です。それぞれ団体の指導方針に従って計画をお立てください。

なお、本所には、社会教育施設としての基本的なルールがありますので、計画を立てたり、実際に本所を利用されたりする際には、本書をよくお読みいただき、十分御理解の上、研修生への周知と指導の徹底をお願いします。

(2) 研修支援スタッフを配置

本所には、研修が円滑に推進され、大きな成果があげられるよう支援をさせていただくスタッフが配置されています。研修の企画や運営、生活の仕方など、遠慮なく御相談ください。

(3) 団体間の交流を重視

本所では、利用者全員参加による「朝のつどい」「夕べのつどい」を行います。団体の枠を越えて、利用者相互の交流を図ることを主なねらいとしています。短時間ではありますが、焼津青少年の家での“出会い”を大切にしていきたいと思っております。